

歌をつむぐ

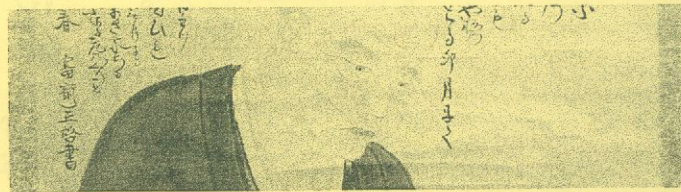
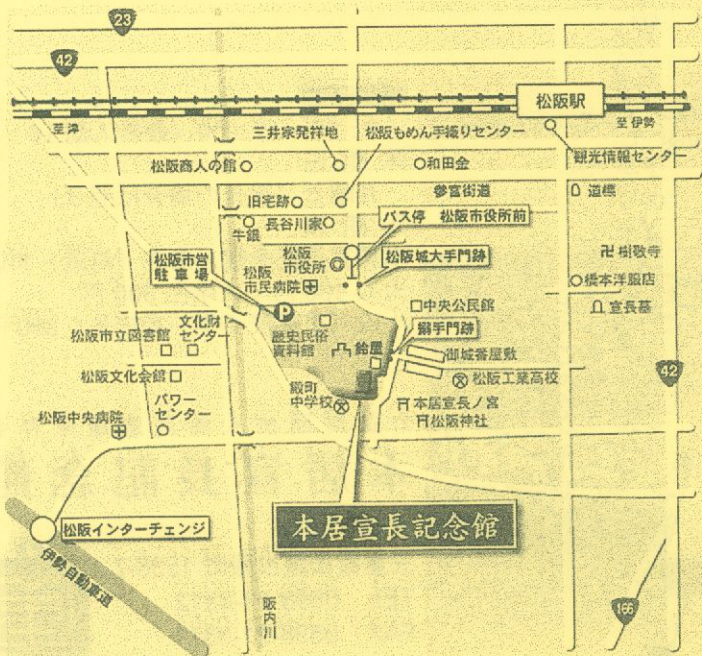
和歌は宣長の学問の原点ともいえるもの。

歌を詠む中で芽生えた「和」への関心は、やがて『源氏物語』から『古事記』研究に繋がり、『古事記伝』の執筆へと展開していきます。また、宣長にとって歌を詠むことそれ自体が楽しみでもありました。松坂の人々と親しむきっかけとなった嶺松院歌会や、祝い事、来訪者の歓迎といった、折に触れて行われる歌会の際は人脈を拓ける絶好の機会であり、晩年宣長と関わった妙法院宮のほか、芝山持豊、日野資枝ら公卿との関係も、歌を通して深められたものでした。宣長と歌の様々な側面にクローズアップする展示です。

宣長の原点

宣長十講

2017年	12月16日(土)	橘守部の宣長批判	中部大学 岡本 聡 氏
2018年	1月20日(土)	期待の毀誉—真淵と宣長—	静岡大学 高野 奈未 氏
	2月17日(土)	城戸千楯—平田厚胤を毛嫌いした京都の宣長門人	明星大学 青山 英正 氏
		時間 14:00~15:00 会場 松阪市松阪公民館	資料料 100円(事前申込不要)



公益財団法人 鈴屋遺蹟保存会
本居宣長記念館

〒515-0073 三重県松阪市殿町 1536-7
TEL 0598-21-0312 FAX 0598-21-0371
Mail info@norinagakinenkan.com
http://www.norinagakinenkan.com

【交通アクセス】

- ◆JR・近鉄松阪駅より 徒歩 15分
- ◆自動車 ◎伊勢自動車道松阪ICより5キ。
◎松阪ICより5キ。